

【神奈川県】株式会社大川印刷 ～SDGsを活用した地域中小企業による新たな需要開拓～

企業概要

URL : <https://www.ohkawa-inc.co.jp/tag/sdgs/>

- 明治14年（1881年）創業の横浜の老舗印刷メーカー。印刷を通じて社会貢献を目指す「ソーシャルプリンティングカンパニー」として本業を通じたSDGs達成に取り組む。
- FSC森林認証紙やノンVOCインキ（石油系溶剤0%）の使用、針金を使わない製本等、環境負荷低減に特化した「環境印刷」に取り組んでいる（平成27年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰、第2回ジャパンSDGsアワード「SDGsパートナーシップ賞」（平成30年12月）を受賞）。

企業情報			
企業名	株式会社 大川印刷		
代表者	代表取締役社長 大川 哲郎		
設立年	1881年	従業員	41人
資本金	2,000万円		
業種	印刷・同関連業		
本社所在地	神奈川県横浜市戸塚区上矢部町2053		
事業概要	企画・デザイン 制作・印刷		
電話番号	045-812-1131		



(株)大川印刷
大川代表取締役社長

SDGs達成を通じた取組

【経緯・背景等】



- インターネット印刷等の新たなビジネスモデルの台頭により、印刷業界は価格競争が激化。継続してCSR・CSV活動に取り組んでいたが、社会貢献・社会課題解決を通じて、企業の稼ぐ力の向上に結びつけるステージに移行していかなければならないという問題意識を持っていた。国連が2015年に採択したSDGsは国内外の社会課題が整理されており、中小企業でも本業を通じてSDGsに取り組むことで、ビジネス機会の獲得に繋がると考えた。

【具体的な取組、製品・サービス】

- SDGsのゴールに合わせて自社の取組を棚卸し（マッピング）したうえで、経営計画にSDGsの要素を反映。更に、従業員から関心のあるSDGsのターゲットと関連する新規プロジェクトを募集してプロジェクトチームを立ち上げるなど、ボトムアップ型で目標達成に向けた活動を推進し、全社員向けの「人財」育成にもSDGsを活用。
- 社会貢献型の印刷サービスとして、印刷用インキはノンVOCインキ（石油系溶剤0%）、印刷紙は違法伐採による紙でないことを証明するFSC森林認証紙を使用することで、環境や人の身体にも優しい「環境印刷」を行い、高付加価値・適正価格でサービスを提供。
- 「SDGsを忘れないメモ帳」（SDGsの17のゴールを整理したメモパッド）、「セパレートエコカレンダー」（白内障・色弱者の方にも読みやすい卓上カレンダー）等のSDGsを意識した新製品開発も実施。市民団体と連携し、日本に在留している外国人ニーズに応えるための日本初の4か国語版お薬手帳を開発し、大使館等から注目され、販売に結びついている（BtoC販売も新たに実施）。



SDGsを忘れないメモ帳
（大川印刷の製品）

【取り組んだ成果・効果】

- 持続可能な調達に関心の高い大手企業、外資系企業、団体、大使館等との新規取引増加、売上増加。
- SDGsを旗印とした内部組織力強化（職場環境改善、社員のモチベーションアップ）と外部ステークホルダーとの連携強化を実現。



LED UV印刷機



毎週オープンファクトリーも
開催している

【貴社にとってのSDGsと、その展望】

- 新型コロナウイルスはSDGsの本質的意義を問い直すものと捉え、自社にとってSDGsをビジネスとして取り組む「取り組み方」そのものの見直しを実施、より貢献を広め、深めていく。環境印刷の効果（CO2削減量など）の見える化、印刷業界初の「ゼロカーボンプリント」の更なる推進を通じて顧客におけるスコープ3の削減（温室効果ガスの間接排出量の削減）をビジネスモデルとして確立させ、2030年までに自社のスコープ3を含めたCO2のゼロ化を図っていく。